

## 耕田 和美 議員



### 一括質問方式

- ①働き方改革
- ②安全安心のまちづくり
- ③教育行政

### 働き方改革について

**問** 今年2月には、県下20市町の首長が「ひめボス」宣言を行い、

県内の268の企業団体まで輪が広がったと聞いている。

清水市長も大洲市のトップとしてひめボス宣言をされているが、この「ひめボス」を推進していくには、市内の企業、団体の方たちの理解、また協力が必要だと思う。今後大洲

市民が働きやすい環境をどのようにつくっていかれるのか。

**答** 大洲市民が働きやすい環境をつくっていくことについては、社会全体の機運が高まり、その成果を上げていくため、民間企業や団体の協力が不可欠です。本年2月のひめボス合同宣言を機に、オール愛媛体制によるひめボス推進キャンペーンを展開しているところで、現在、市内では、松山市に次ぐ15事業者が宣言していただいている状況です。今後も引き続き県と連携して、その普及に努めるとともに、県が実施を予定している「ひめボス」講師養成講座などへの参加についても働きかけを行っていきたくと考えています。

### 安全安心のまちづくりについて

**問** 学校、施設において、屋外へのAED設置は、緊急時はもちろん、災害時には地域住民の利用が可能になり、命を守る対策として大変重要ではないかと考えるが、AEDの屋外設置についての所見を伺いたい。

現在、把握しているAEDの設置状況については、公共施設に145台、病院や店舗等に59台の、合計204台設置されています。そのうち、平野公民館平地上分館、出海診療所の2カ所は屋外設置となっています。AEDを屋外に設置する場合は、専用の収納ケースを設置し、盗難やいたずらなどに対しても対策をする必要がありますが、屋外のグラウンド利用者に必要な場合も想定されることから、既に設置しているAEDについて、施設利用状況等を調査しながら、屋外設置を検討していきたくと考えています。

出海診療所の玄関（屋外）に設置されているAED



**答** 現在、把握しているAEDの設置状況については、公共施設に145台、病院や店舗等に59台の、合計204台設置されています。そのうち、平野公民館平地上分館、出海診療所の2カ所は屋外設置となっています。

AEDを屋外に設置する場合は、専用の収納ケースを設置し、盗難やいたずらなどに対しても対策をする必要がありますが、屋外のグラウンド利用者に必要な場合も想定されることから、既に設置しているAEDについて、施設利用状況等を調査しながら、屋外設置を検討していきたくと考えています。

### 教育行政について

**問** 近年、子供の体力、運動能力が著しく低下していると言われている。体格的には親の世代を上回っていることから、身体能力の低下が深刻であると考えられているが、子供の体力低下の原因には、生活の利便性や、生活様式の変化、日常生活における体を動かす機会の減少もその一つであると言える。

本市の子供たちの体力、運動能力検査の現状と結果についてどのような捉えられているのか。

**答** 昨年度、小学校5年生男女と中学校2年生男女を対象として実施された全国体力・運動習慣等調査の結果では、本市の平均と全国の平均を比較すると、小学校5年生男子と中学校2年生女子は、体力、運動習慣等が全国でも優れた方であると言えます。また、小学校5年生女子と中学校2年生男子についても、決して低いとは言えないのが実情です。本市では個人差はあるものの、全体としては心配されるような体力の低下はしていないと判断しています。